

2010 年

12 月 28 日（火曜日） - まちの安全・安心を護る尊い活動に心から感謝 -

本年も、いよいよ年末をお迎えすることとなりました。消防団の皆さんに年末警戒をしていただく時期になりましたが、振り返ってみて、本当に、この一年、また常日頃から、羽賀団長はじめ本市 1756 名の消防団の皆さんには、日夜、ご家庭や職場のご負担がある中で、最前線の現場で、なくてはならない尊いご活動に尽くしていただき、お一人おひとりの団員の皆さんはもとより、ご家族や職場の皆さんにもとともどもに、心からの感謝にたえません。

また、本年は、2 年に 1 度の操法大会の年でありましたが、京都府大会において大宮第 2 分団がポンプ車操法の部で、久美浜第 3 分団が小型ポンプ操法の部で、それぞれ準優勝という素晴らしい成績を収めていただきました。本市として大変誇らしいとともに、チームワーク力、チーム・団の絆の強さとともに、それを築いてきた日頃の鍛錬と高い責任感、向上心、そして尊いご負担・ご献身の顕れと心から敬意を深くしております。

消防職員におかれても、本年は、猛暑の影響下での集団的な熱中症への対応もあり、救急件数が 2400 件を超え常備消防業務開始以来の最大件数となりましたが、4 月からは、京都府・兵庫県・鳥取県の 3 府県共同によりドクターヘリの運行も始まり、車両救急を基本としながらも救急医療の新しい時代の断面が開けてきたように思います。消防職員の皆さんには、火災や自然災害以外にも新型インフルエンザや特殊災害への備えなど専門的な対応も一層必要となり、今後とも安全安心を護る常備機能としてますます市民の期待に応えていただきたいと思っております。本当にいつもありがとうございます。

警察官の皆さんにも、年末には 3 日に分けて特別警戒活動を実施していただき、また、常日頃から、防犯、検挙、警戒など市民の安全安心を防御する警察活動を広く執行していただき、趨勢的には、管内で刑法犯の認知件数も年々減少傾向にあるとお伺いしており、安全安心なまちづくりの上で深く感謝しております。

まちの未来づくりのうえでは、様々な業務、生活、活動を日常的に営むことを可能とする安全、安心の確保、たえざる充実が欠かせませんが、このためには、警察や常備消防などの職業人の皆さんの大切な任務に基づく活動とともに、消防団の皆さんをはじめ市民の尊い活動と力を合わせて全市的に協働していくことがとても大切であります。市民の皆さんには、尊い消防のご活動のほかにも、防犯推進委員協議会や防犯協会、保護司会や民生児童委員協議会、交通安全協会や交通安全指導員会をはじめ様々な形でまちの防犯、安全、安心の確保、充実に尽くしていただき、一つひとつのご活動が、広く市内各層において安全、安心の実を着実にあげていくとともに、まち全体の防犯意識や規範の向上を図っていく大事な効果にもつながっています。一年を振り返り、それ

ぞれの皆さんに心から感謝を捧げますとともに、今後ともますますまちの安全安心を護る活動を市民の皆で力を合わせて発展させていきたいと思ひます。